

仮使用認定申請書

（第一面）

建築基準法第7条の6第1項第二号（同法第87条の2又は第88条第1項若しくは第2項において準用する場合を含む。）の規定による仮使用の認定を申請します。

申請にあたっては、一般財団法人滋賀県建築住宅センター確認検査業務約款及び同確認検査業務規程を遵守します。

一般財団法人 滋賀県建築住宅センター
理事長 様

センターに申請した年月日です

令和 元 年 5 月 30 日

申請者氏名

滋賀 びわ子

申請種別にチェック

【仮使用の認定を申請する建築物等】

- 建築物
- 建築設備（昇降機以外）
- 工作物（法第88条第1項）
- 建築設備（昇降機）
- 工作物（昇降機）
- 工作物（法第88条第2項）

※受付欄	※決裁欄	※認定番号	※特記
令和 年 月 日		令和 年 月 日	
第 号		第 号	
係員印氏名		係員印氏名	
※条件			

※欄は当センターで記入します

【1. 建築主、設置者又は築造主】

【イ. 氏名のフリガナ】 **シバ ビワコ**
【ロ. 氏名】 **滋賀 びわ子**
【ハ. 郵便番号】 **520-0801**
【ニ. 住所】 **滋賀県大津市におの浜一丁目〇番〇号**
【ホ. 電話番号】 **〇〇〇-〇〇〇 - 〇〇〇〇**

・ **崎と崎、高と高**

など漢字に注意して下さい

・ **電話番号が無い場合は
無し 又は 一 と記入**

概要書には建築主の電話番号は記入しません

【2. 代理者】

【イ. 資格】 (**1級**) 建築士 (**大臣**) 登録第 **〇〇〇〇〇〇** 号
【ロ. 氏名】 **近江 富士夫**
【ハ. 建築士事務所名】 (**1級**) 建築士事務所 (**滋賀県**) 知事登録第 (**イ**) **〇〇**号
近江富士夫一級建築士事務所
【ニ. 郵便番号】 **523-0893**
【ホ. 所在地】 **滋賀県近江八幡市桜宮町〇〇番地**
【ハ. 電話番号】 **0748-31-〇〇〇〇**

・ **FAX番号の記入あれば訂正内容FAXします**
・ **代理者の方は申請者からの委任状が必要です**

【3. 建築確認】

【イ. 確認済証番号】 **第 H27確認建築滋建住〇〇〇〇〇 号**
【ロ. 確認済証交付年月日】 **平成27年11月10日**
【ハ. 確認済証交付者】 **一般財団法人 滋賀県建築住宅センター**

【4. 敷地の位置】

【イ. 地名地番】 **滋賀県〇〇市〇〇町**
【ロ. 住居表示】

**直近の確認申請について記載して下さい。
計画変更があればその申請内容を記載して下さい**

【5. 設置する建築物又は工作物】

【イ. 所在地】
【ロ. 名称のフリガナ】
【ハ. 名称】

**仮使用を受ける対象が建築物・
工作物の場合は[4.]
昇降機や建築設備の場合は
[5.]欄に記入して下さい**

【6. 仮使用の用途】

事務所・倉庫

【7. 工事完了予定年月日】 **令和28年 4月11日**

**仮使用部分の工事完了予定日
です**

【8. 仮使用期間】 **令和28年 4月15日から 令和28年 4月27日まで**

【9. 申請の理由】

**既設倉庫の解体が未完であるため完了検査が受けられない。
新設の倉庫に荷物を移し、事務所を使用するため。**

【10. 備考】

昇降機については完了検査を申請

(注意)

1. 第一面関係

- ① 「仮使用の認定を申請する建築物等」の欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。建築基準法第88条第1項に規定する工作物のうち同法施行令第138条第2項第1号に掲げるものにあつては、「工作物（昇降機）」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ② ※印のある欄は記入しないでください。

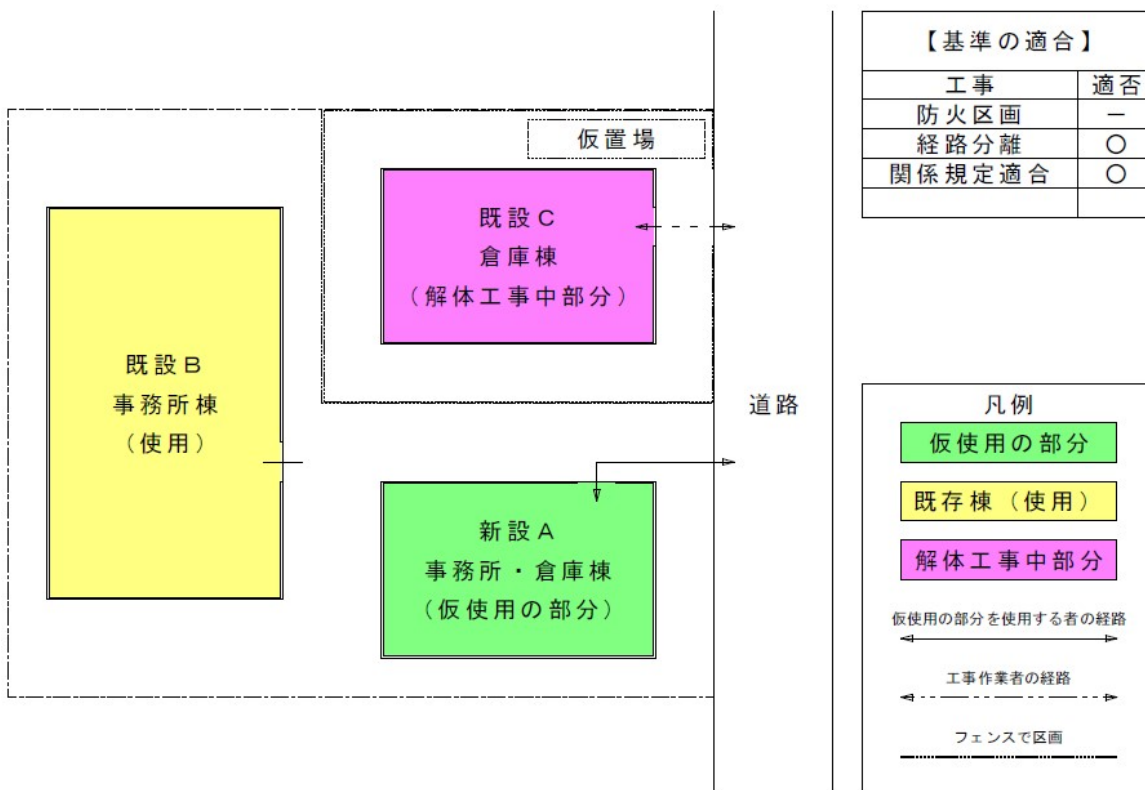
2. 第二面関係

- ① 建築主、設置者又は築造主が2以上のときは、1欄は代表となる建築主、設置者又は築造主について記入し、別紙に他の建築主、設置者又は築造主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- ② 建築主、設置者又は築造主からの委任を受けて申請を行う者がいる場合においては、2欄に記入してください。
- ③ 2欄は、代理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に所属していないときは、所在地は代理者の住所を書いてください。
- ④ 3欄は、計画変更の確認を受けている場合は直前の計画変更の確認について記載してください。
- ⑤ 4欄は建築物又は工作物（昇降機を除く。）について、5欄は昇降機又は建築設備について仮使用の認定を受けようとする場合に記入してください。
- ⑥ 住居表示が定まっているときは、4欄の「ロ」に記入してください。
- ⑦ 6欄及び9欄は、できるだけ具体的に書いてください。

安全計画書				
I. 工事計画概要				
1. 工事名称	住宅センター事務所・倉庫棟増築工事		建物概要は仮使用にかかる 建物の確認申請書第四面より 記載して下さい	
2. 工事場所	滋賀県〇〇市〇〇町			
3. 工事種別	確認申請書の三面 増築・四面 新築			
4. 建物概要	イ. 用途	事務所・倉庫	ロ. 構造	R/C造
	ハ. 高さ	軒の高さ 8.600m		最高の高さ 9.000m
	ニ. 階数	地上 3 階 地下 0 階 塔屋 0 階		
	ホ. 建築面積	126.00 m ²	ヘ. 延べ面積	342.00 m ²
5. 昇降機・建築設備又は工作物の概要	防火区画（堅穴区画、異種用途区画あり） 昇降機の使用あり、仮使用検査と同時に完了検査を予定			
II. 仮使用認定申請部分				
1. 仮使用部分	別添図面に黄緑色で表示			
2. 用途	事務所・倉庫	3. 申請面積	概ね	342.00 m ²
<p>(注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仮使用部分と工事部分を色分けするなどして、分かりやすく表現してください。 ○ 敷地内避難通路については【仮使用部分使用者の経路】と「工事用作業者の経路」の区分が明確にわかるよう表現してください。 				

Ⅲ. 基本的な施工計画

1. 工事施工手順の概要（概念図）



2. 工事区画の位置及び構造

別添図面に（工事区画の位置は朱線で）表示

3. 工事工程

- 4月1日 仮使用認定申請
- 11日 新設A棟 工事完了
- 14日 仮使用現場検査（昇降機完了検査）
- 15日 仮使用開始
- 18日 既設C棟 解体開始～終了27日
- 27日 完了検査

4. 工事用資材の搬出入及びその管理方法

- ① 新設A（事務所・倉庫棟）の工事完了後、これを仮使用の部分として使用する。
既設C（倉庫棟）より荷物を移動した後、これを解体して完了検査を受ける。
- ② 既設C（倉庫棟）の解体工事中は、仮使用の部分にフェンスにて明確に区画する。
- ③ 解体による廃棄物は解体工事区画内の仮置場に置き随時搬出する。
- ④ 既設B（事務所棟）と新設A（事務所・倉庫棟）の敷地内通路を確保する。

IV. 工事により機能の確保に支障が生じる避難施設等の有無		
	種類	工事により機能の確保に支障が生じる避難施設等の有無
避 難 施 設 等	イ. 廊下その他の通路	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ロ. 直通階段等	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ハ. 地下道等	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ニ. スプリンクラー設備等	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ホ. 排煙設備	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ヘ. 非常用の照明設備	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	ト. 非常用の昇降機	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	チ. 防火区画	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>

**有りにチェックがある場合は
支障が生じないように計画を
見直すか、特定行政庁に申請
することになります**